

施肥記録

生産者名：_____ 年度：_____ 記入者：_____

施用日	圃場	作物	肥料名	元肥／追肥	N (%)	P (%)	K (%)	施用量 (kg/10a)	成分量N (kg/10a)	成分量P (kg/10a)	成分量K (kg/10a)	施用者

- 成分量 (kg/10a) = 施用量 (kg/10a) × 成分% ÷ 100。Excel では成分量の欄に計算式が入っていて、成分%と施用量を入れると自動で計算されます。圃場が10aでないときは、施用量を先に10aあたりに直します（例：5aに50kgなら100kg/10a）。
- 成分の%は肥料袋の保証票で確認してください。施肥量の目安は、都道府県の施肥基準を確認してください。
- 記入例の肥料名・量は架空のものです。

施肥計画（作物ごとの成分量の合計。単位はすべて kg/10a）

生産者名：_____ 年度：_____

作物・作型	圃場	面積 (a)	基準 N	基準 P	基準 K	元肥 N	元肥 P	元肥 K	追肥 N	追肥 P	追肥 K	合計 N	合計 P	合計 K	基準と の差 N	基準と の差 P	基準と の差 K	土壌診断・減肥のメモ

- 施肥基準の欄には、都道府県の施肥基準（作物・作型ごとの10aあたりの成分量）を書き写します。元肥・追肥の欄には、記入用シートの成分量をその作物の元肥・追肥ごとに足した値を書きます（追肥が複数回なら合計）。
- Excel では「合計」（元肥＋追肥）と「基準との差」（合計－基準）の欄に計算式が入っていて、自動で計算されます。差がプラスなら基準より多く、マイナスなら少なく施しています。
- 土壌分析の結果がある場合は、メモ欄に書き、減肥の判断に使います。